

【情報公開文書】

2020年2月10日作成

ver.1

2020年2月21日作成

ver.2

2023年3月7日作成

ver.3

研究課題名	RS3PE 症候群とリウマチ性多発筋痛症、関節リウマチの臨床的特徴の比較
所属（診療科等）	長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科
研究責任者	折口 智樹（生命医科学域（保健学系）教授）
研究機関	本研究は長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科を中心に県内約 10 施設で実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。
研究期間	2020年3月24日～2026年3月31日
研究目的と意義	RS3PE 症候群（remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema）とは、1) 寛解する（remitting）、2) リウマトイド因子陰性の（seronegative）、3) 対称性の（symmetrical）、4) 滑膜炎（synovitis）で、5) 手足の圧痕を残す浮腫（pitting edema）を特徴とする症候群です。本疾患はリウマチ性多発筋痛症や関節リウマチと類似点が多く、しばしば鑑別に苦慮します。そのため、この3疾患の臨床的特徴を比較検討し、鑑別診断に有用なデータを取得することを目的とします。そして、本研究の結果、これら3疾患の鑑別が容易になれば、速やかに適切な治療を実施することが可能となり、治療効果が改善され、関節の変形や拘縮などの後遺症を残すことなく、ドラッグフリーになることも期待されます。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>1) RS3PE 症候群：1) 両手（足）の左右対称性の圧痕を残す浮腫、2) 急性発症の多関節炎、3) 50 歳以上、4) リウマトイド因子陰性、のすべてを満たす患者さん。</p> <p>2) リウマチ性多発筋痛症群：2012 年に欧州/米国リウマチ学会のリウマチ性多発筋痛症暫定分類基準を満たした患者さん。</p> <p>3) 関節リウマチ群：2010 年米国リウマチ学会/欧州リウマチ学会の関節リウマチ新分類基準を満たした患者さん。</p> <p>調査対象期間：2003 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日</p> <p>●利用する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発症年齢、性別、職業、家族歴、併存疾患 ・発熱、関節症状、睡眠障害などの症状

	<ul style="list-style-type: none"> ・リウマチ関連の血液検査 ・関節の画像検査 ・治療薬および治療経過
個人情報、研究に係る情報等の取扱い	<p>●研究の概要・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RS3PE 症候群患者群（RS3PE 群）とリウマチ性多発筋痛症患者群（PMR 群）、関節リウマチ患者群（RA 群）の3群において臨床的特徴を電子カルテから入手し、比較検討します。 ・患者さんに新たに検査などをしていただくことはありません。 ・患者さんが負担する費用も謝礼も発生しません。
研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧および同意の撤回	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究施設から長崎大学に情報を提供していただく際は、個人情報からならないよう、対応表を用いて匿名化（連結可能匿名化）したうえで臨床情報を郵送いたします。個人情報および対応表は施錠して研究責任者の研究室内に保存されます。 ・研究成果は個人を特定できないような形で学会発表や論文などで報告します。
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：折口 智樹（医師） 長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7262 FAX 095（849）7270</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>